

おきなわSDGsアクションプラン 骨子（たたき台）

1 目的

沖縄県では、県民をはじめとする様々なステークホルダーと連携しながら沖縄らしいSDGsを推進していくための基本的な指針を「沖縄県SDGs実施指針」（2021年9月策定）としてとりまとめている。

全県的なSDGsの浸透と主流化に向け、同実施指針に位置づけた基本理念、優先課題などに対応した具体的なアクションやモニタリングの指標等を「おきなわSDGs アクションプラン」としてとりまとめ、SDGs 達成に向けた進捗状況等を多くの人々の参画の下、透明性をもって点検・フィードバックを図りながら、多様なステークホルダーと連携し、沖縄らしいSDGsを推進する。

2 沖縄らしいSDGsの基本理念

沖縄県においては、県民アンケート等により意見を集約し、審議会において議論を重ねることで、バックキャストの視点から将来（2030年）のあるべき沖縄の姿を描き、その実現に向けた方向性等の基本構想を「沖縄21世紀ビジョン」（2010年3月策定）としてまとめている。

沖縄県においてSDGsを推進し、県民が描く将来像を実現するにあたり、「沖縄21世紀ビジョン」と重なることが多いことを踏まえ、残すべき、あるいは残したい沖縄らしさと、変えていくべき沖縄の双方を含有し、継承と変革への沖縄の挑戦を示すものとして、「沖縄県SDGs実施指針」（2021年9月策定）において次のとおり定めている。

<沖縄らしいSDGsの基本理念>

平和を求めて時代を切り拓き、世界と交流し、ともに支え合い誰一人取り残さない、持続可能な『美ら島』おきなわの実現

3 沖縄の将来像

「沖縄21世紀ビジョン」においては、県民が望む将来（2030年）の姿として、5つの将来像を位置づけている。これらの実現に向けた行動にSDGsの達成に向けた行動を重ね、県民が望む将来像の実現を目指す。

- 将来像1 沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島
- 将来像2 心豊かで、安全・安心に暮らせる島
- 将来像3 希望と活力にあふれる豊かな島
- 将来像4 世界に開かれた交流と共生の島
- 将来像5 多様な能力を発揮し、未来を拓く島

4 優先課題

「沖縄県SDGs実施指針」では、SDGsのゴール及びターゲット、「沖縄21世紀ビジョン」、県民意識調査回答などを中心に、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響や変化を織り込み、沖縄の歴史的・地理的・自然的・社会的特殊事情を踏まえて、12の優先課題を設定している。

12の優先課題はSDGsの5つのPの考え方に沿って整理をしている。

(People 人間)

- ①性の多様性（LGBT等）、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）
- ②医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし
- ③地域への誇り（しまくとぅばの普及・推進等）と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実

(Prosperity 繁栄)

- ④基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル／レスポンシブルツーリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇用
- ⑤日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点
- ⑥気候変動に適應する強靱なインフラと交通網の整備

(Planet 地球)

- ⑦多様な生物・生態系や世界自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル

(Peace 平和)

- ⑧基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信
- ⑨共助・共創型の安全・安心な社会の実現

(Partnership パートナーシップ)

- ⑩ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和
- ⑪地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出
- ⑫世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ

5 沖縄らしいSDGsの実現及び実現に向けたアクション

「おきなわSDGsアクションプラン県民アンケート」（2021年実施）等の県民意見を踏まえ、12の優先課題に対応した具体的な目標やアクションを「沖縄らしいSDGsの実現」と「実現に向けたアクション」としてとりまとめた。

(1) 性の多様性（LGBT等）、障がいの有無、国籍など、互いの違いを認め合い、一人ひとりが大切にされ、あらゆる場所で活躍できる社会の実現（多様性の尊重、個人の尊厳）

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	家庭、職場、学校、地域といったあらゆる場面でジェンダー平等、男女の機会均等が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・性別による役割・仕事といった決めつけを無くしていく。 ・働き方改革として、ジェンダーバランスに取り組む。
2	性の多様性が理解・尊重される社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての人の性のありようを尊重し、差別や暴力のない人権が尊重される社会をつくることを県民全体で共有する。 ・偏見・差別やあらゆる種類の暴力を許さない。 ・地域活動、学校教育、家庭教育、職場などのあらゆる場面で、性の多様性について理解・尊重する機会を増やす。
3	障害のある方が住みやすく、生き生きと活躍できる社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの普及やバリアフリー化を促進する。 ・障害のある方の雇用促進と働きやすい職場環境づくりに取り組む。
4	様々な国の生活・文化が理解され、外国の方にとって住みやすい地域が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な国の歴史や文化に触れる機会に参加する。 ・次世代の沖縄を担う若者・子ども達が様々な国や地域の文化を理解する教育に取り組む。 ・国籍に限らず地域の住民が地域課題解決に参画できる機会をつくる。 ・多言語表示のサイン等を含めた様々な場面で外国語対応を充実する。 ・教育、生活等におけるサポートをパートナーシップにより促進する。
5	ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）が実現し、誰もが生き生きと活躍できる社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ディーセントワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の理解を広げる。 ・ディーセントワークに取り組む企業・団体が評価される環境をつくる。

(2) 医療・福祉の充実、健康長寿と生きがい、子どもを貧困から守る子育てしやすい暮らし

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	健康・長寿おきなわが復活している。	<ul style="list-style-type: none"> ・適度な運動など、生活習慣を見直し、生活習慣病を予防する。 ・飲酒は適正量を心がける。 ・特定健診、がん検診を受診する。 ・感染症の感染防止策や新しい生活様式の実践に積極的に協力する。 ・健康経営の導入を促進する。 ・職員のメンタルヘルスケアに取り組む。
2	医療提供体制が充実し、安心して生活できる地域が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療の提供体制を充実する。 ・離島・へき地の医療提供体制を確保・充実する。
3	高齢者が安心して元気に暮らせる地域が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・介護サービスや認知サポーターによる支援等を充実する。 ・高齢者が安心して働ける環境や多様な交流・活躍の場を形成する。
4	ひとり親家庭など、支援が必要な方が安心して生活できる環境が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を有する子どもや世帯などに対する支援体制を充実する。
5	安心して子育てができる環境が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・妊産婦を支える体制を充実する。 ・保育施設の量と質を確保する。 ・放課後児童クラブを充実する。
6	生活困窮世帯の子どもや世帯を支援する官民の枠組みが充実し、子ども達が生き生きと活動できる環境が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄子どもの未来県民会議を中心とした官民連携の活動に参加する。 ・子ども食堂、フードバンク・フードネットワーク等に協力・支援を行う。 ・学校、地域、行政など関係機関が一体となって子ども達を支える。 ・子どもが安心できる様々な居場所を地域に増やす。 ・ヤングケアラーに関する課題解決に向けて、連携して取り組む。 ・教育・生活など、生活困窮世帯や支援が必要な子どもをサポートする団体等の活動に協力・支援を行う。

(3) 地域への誇り（しまくとぅばの普及・推進等）と夢・目標をもてる学びの確保、教育の充実

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	生まれ育った地域の歴史や文化等を学び、地域への愛着と誇りを持った若者が活躍する社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、家庭でしまくとぅばを使うとともに、子ども達が地域の歴史や文化等を学ぶ機会をつくる。 ・地域の祭礼・伝統行事に関わる機会をつくる。
2	時代に対応し、生きる力を育む、多様な学びの環境が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、家庭でSDGsを学ぶ機会をつくる。 ・様々な国の歴史・文化やダイバーシティなど、多様性に対する理解を深める機会をつくる。 ・外国語、科学、ICT、アートなどを学ぶ機会を充実する。 ・一人ひとりが自分らしく生き生きと主体的に将来に向けて学べる環境をつくる。 ・ICTを活用した学びの機会を充実する。
3	充実した人生100年時代、再チャレンジを支える学びの環境が充実している。	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア教育、リカレント教育等の機会を充実する。 ・生涯学習の環境を充実する。

(4) 基幹産業として持続可能で責任ある観光（サステナブル／レスポンシブルツーリズム）の推進、観光との連携・相乗効果等も活用した産業振興（農林水産業におけるブランド化等）、県経済の基盤となる安定的な雇用

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	世界から持続可能な観光地（サステナブル・ツーリズム等）として評価されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナブル(持続可能)／レスポンシブル(責任ある)／ユニバーサル(誰もが楽しめる)・ツーリズムを推進する。
2	観光との連携・相乗効果なども活用し、県内企業の稼ぐ力を強化することで、域内経済循環の拡大や県民所得の向上が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・企業の連携やICTの活用、高度人材の育成・確保等による付加価値や生産性の向上を図る。 ・経済における「SDGsの主流化」や地域課題に対応したソーシャルビジネス創出とESG投資等を促進する。
3	県産農林水産物のブランド化による県外消費と地産地消の促進により農業産出額等が拡大している。	<ul style="list-style-type: none"> ・観光との連携を含めた農林水産物のブランド化、6次産業化の取組を促進する。 ・県産農林水産物の地産地消を促進する。
4	科学技術・イノベーションが進み、健康・バイオ・医療関連産業などの新たなベンチャー創出・産業集積が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・健康・バイオ・医療、環境、ブルーエコノミー、航空・宇宙等の新たな産業の創出・集積に向けて取り組む。 ・産学連携の研究開発促進や新技術の実証試験等を積極的に行うテストベット・アイランドの形成などにより、高付加価値産業の創出・育成する。 ・スタートアップの支援を充実させ、新たなビジネス創出を促進する。 ・支援機関の連携を促進し、効果的な支援体制を構築する。
5	県内の雇用状況が改善・安定し、働く意欲のある人が安心して働ける環境が形成されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用、非正規雇用労働者の待遇の改善を促進する。 ・働きやすい環境、柔軟な働き方ができる環境づくりを促進する。 ・再就職、転職に向けた人材育成や就業支援を充実する。

(5) 日本とアジア・太平洋の架け橋となる物流・情報・金融の拠点

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	アジア・太平洋の国際物流拠点が形成されている。	<ul style="list-style-type: none">・高付加価値製品を出荷する製造業の育成・集積を促進する。・物流関連企業の育成・集積を促進する。・国際物流拠点を支える空港及び港湾の機能強化を推進する。・物流産業、製造業における雇用拡大を促進する。
2	デジタル社会が実現し、情報通信産業や金融関連産業の国際的な拠点が形成されている。	<ul style="list-style-type: none">・ICT、IoT、AI、ロボット等を活用した新たなビジネス・イノベーションの創出、集積を促進する。・あらゆる分野において、DX（デジタルトランスフォーメーション）を促進する。・情報関連の専門人材育成と雇用拡大を促進する。・官民連携により次世代通信網の基盤整備を促進する。

(6) 気候変動に適応する強靱なインフラと交通網の整備

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	災害に強い地域づくり・まちづくりが実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・社会基盤等の防災・減災・長寿命化の対策を進める。 ・ハザードマップの充実及び周知を促進するとともに、災害時の緊急避難体制を強化する。 ・要配慮者への支援体制を行政や地域等の連携等により構築する。
2	島しょ地域に対応したエネルギーの安定供給、強靱化、脱炭素化が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電等の再生可能エネルギーの導入を促進する。 ・災害に強いエネルギー供給体制の構築、地域マイクログリッド、スマートグリッド、エネルギーマネージメントシステム、非常用電源（EV・PHV、蓄電池等）等を促進する。 ・離島地域をテストベッドとした再生可能エネルギー導入促進に向けた実証試験等を推進し、島しょ地域におけるエネルギーの脱炭素化に取り組む。
3	環境と人に優しい地域づくり、交通網・まちづくりが実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・緑化の推進と適切な管理等により、潤いと安らぎのある地域をつくる。 ・過度な自家用車保有・利用から公共交通への利用転換を促進する。 ・ICTの活用や機能強化等により公共交通の利便性を向上する。 ・鉄軌道を含む新たな公共交通システムと地域を結ぶ利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。 ・電気自動車や電動自転車等のシェアリングを促進する。 ・交通渋滞の緩和・解消を通じて、負担なく移動できる環境づくりに取り組む。

(7) 多様な生物・生態系や世界自然遺産を含む自然に囲まれた環境の保全、エコアイランドの実現、自然と調和したライフスタイル

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	美しく豊かな自然が保全され、生物多様性が維持されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界自然遺産や自然公園の保全・管理・適正な利用を促進する。 ・希少生物種のモニタリング等を行い、効果的な保護対策を推進する。 ・赤土、海岸漂着物等、不法投棄の対策等、水域や陸域の環境保全を促進する。 ・環境学習の促進や普及啓発等により、美しい海・豊かな森林等の自然環境の保全、サンゴや希少な生物等の生物多様性の保全について、理解を深める。
2	脱炭素社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーや省エネルギー設備・機器、ゼロエネルギーハウス・ビルディング（ZEH・EZB）、スマートグリッドシステム等の導入を促進する。 ・脱炭素社会の実現を加速するための技術革新を促進する。 ・カーボンオフセットの活用や二酸化炭素吸収源の確保・拡充を促進する。 ・EV、PHV等の環境配慮型自動車の導入やエコドライブの普及を促進する。 ・省エネルギー行動（節電、省エネ家電、公共交通利用・徒歩・自転車利用等）を促進する。
3	自然と調和したライフスタイル形成と資源循環型の社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・グリーン購入（環境負荷が小さい製品購入）、エシカル消費（環境・貧困、人権問題などに配慮した倫理的・良心的な消費）を促進する。 ・食品ロスの削減に向けて、官民が連携し、県民運動として推進する。 ・脱プラスチック社会に向けて、使い捨て容器包装等の削減等によるプラスチック製品の使用低減、自然に優しい製品への展開などに取り組む。 ・廃棄物等、ゴミの減量化や資源循環（リサイクル等）の取組を促進する。

(8) 基地から派生する諸問題の解決の促進、平和を希求する沖縄として世界平和への貢献・発信

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	基地から派生する諸問題の解決が進んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> ・米軍基地から派生する事件・事故、航空機騒音、環境問題等の諸問題について、関係機関と連携し、解決に向けて必要な協議や措置を求める。 ・事件・事故等の未然防止、被害者への補償を求めるとともに、サポート体制をつくる。 ・航空機騒音等の調査を踏まえ、騒音の軽減を求める。 ・環境問題に関する調査、結果の公表を踏まえ、汚染防止及び除去を求める。
2	平和を希求する「沖縄のこころ」が継承され、国内外に広く発信されている。	<ul style="list-style-type: none"> ・平和祈念館・平和の礎・慰霊碑等の訪問、平和発信に向けた式典、展示会・シンポジウム等の開催、平和の構築・維持に貢献する個人・団体等とのネットワーク形成を通じ、国内外に平和を希求する「沖縄のこころ」を発信する。 ・沖縄戦の体験や遺産等の記録・保存・調査研究を推進する。 ・地域子ども達が平和を学ぶ機会及びコンテンツを充実する。 ・修学旅行生を含めた観光客に対する平和学習やSDGs等の教育旅行を充実する。 ・平和学習や教育旅行を支えるガイドなど、次世代に平和を語り継ぐ担い手の育成・確保に取り組む。 ・文化及びスポーツ交流等を通じた国際相互理解の促進により、国際社会の平和に貢献する。

(9) 共助・共創型の安全・安心な社会の実現

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	<p>事件や事故の防止等、安全・安心に暮らせる地域が形成されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、地域防犯ボランティア、関係機関が連携した防犯ネットワークの構築や防犯対策の普及等を促進する。 ・ 飲酒運転の根絶、適正量の飲酒に対する理解を深め、アルコール関連の犯罪防止を促進する。 ・ 未成年の非行防止・健全な育成に向けて、見守りや相談指導、文化・スポーツ等の多様な交流機会の確保など、行政、地域、教育機関、家庭等が連携して取り組む。 ・ 災害時の地域防災力の強化するとともに、要配慮者への支援体制を行政や地域等の連携等による構築する。
2	<p>社会的弱者に対する犯罪等の防止や被害者等への支援のための体制や環境が構築されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ DV、性犯罪・性暴力等について、相談窓口の設置と関係機関が連携した体制により、速やかな相談対応から支援の実施につなげる。 ・ 児童虐待の未然防止、早期発見に向けた行政、地域の連携を促進する。 ・ 児童虐待、DV、性犯罪・性暴力等の防止に向けた教育の充実やそれらの犯罪を許さない県民意識の更なる向上と犯罪防止に向けた連携を促進する。 ・ 外国人との結婚や離婚等に関連する国際的な家庭問題等への支援を促進する。 ・ 犯罪被害者等に対する行政、民間支援団体、関係機関等が連携し、支援活動等を推進する。
3	<p>地域課題に行政・地域・企業等の多様な関係者が連携して対応する共助・共創型の社会が形成されている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民、NPO等の市民社会団体、企業、行政等が参画し、多様な形で人的・財政的な資源等を確保しながら、地域課題の解決に取り組む。 ・ 行政・企業・団体間の様々な包括的な連携等の様々な取組を充実する。 ・ NPO等を始めとする各種支援団体の活動に対して協力及び支援を行う。

(10) ユイマール（相互扶助）の継承、人の和・地域の和

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	県民一人ひとりが地域活動に積極的に参画するローカルパートナーシップが充実した社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none">・ 地域について学び、地域の方々と交流し、地域活動や地域の伝統行事に参加する。・ 地域ボランティア活動や地域の文化・スポーツ活動への参加促進と、活動への協力・支援を行う。・ 自治会や自主防災組織、地域防犯活動等の地域コミュニティへの参加と活動への協力・支援を行う。
2	地域の伝統行事や文化に若い世代が参加する機会が増え、次世代に継承されている。	<ul style="list-style-type: none">・ 地域の伝統行事を継承する場を活性化し、積極的に情報発信を行うとともに、より多くの若い世代の参加に向けた協力・支援を行う。

(11) 地域・世代・分野・文化等を超えた多様な交流と連携の創出

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	離島等の魅力を活かした地域間の交流が活発に行われる社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 離島の魅力の理解を深め、国内外に発信し、観光を始め様々な交流を促進する。 ・ 離島等における生活、経済活動を支える様々な基盤や環境を充実する。 ・ 離島等の移住を促進するとともに、地域コミュニティの参加を支援する。 ・ 移住・定住を促進する住環境を充実する。
2	世界のウチナーンチュとの交流や活発に行われ、次世代に発展的に継承されていく環境が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国内外の県人会や団体等、ウチナーンチュのネットワークを継承・充実し、経済・文化等の様々な方面の国際交流を促進する。 ・ 若い世代や企業等の海外進出を促進する。
3	伝統文化・歴史・伝統行事を若い世代が継承し、世代や国を超えた発信を行い、多様な交流が広がっている社会が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 首里城の復元と琉球歴史・文化の復興に向けた様々な活動等に地域、世代を超えて取り組む。 ・ しまくとぅば、琉球舞踊、琉球料理、泡盛、伝統工芸などの伝統文化や歴史・伝統行事等を若い世代が学び、継承する機会を確保するとともに、地域や世代を超えて魅力を発信する。 ・ 沖縄空手の保存・継承・発展に向けて、国内外への情報発信、指導者及び後継者の育成を促進する。
4	多様な文化やスポーツ等の活動や交流、地域の資源を活かした、地域活性化や産業振興、国際交流が実現している。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文化芸術、音楽、サブカルチャー等の多様な文化を通じ、地域の活性化や多様な交流を促進する。 ・ スポーツイベント開催、キャンプ誘致、地域プロスポーツなどにより地域の活性化と多様な交流を促進する。 ・ 子どもや若い世代の様々な文化・スポーツ活動への挑戦を地域で支え、人材を育成する環境づくりに取り組む。

(12) 世界の島しょ地域における技術・経験の共有と国際貢献・グローバル・パートナーシップ

No	沖縄らしいSDGsの実現	実現に向けたアクション
1	沖縄の技術や経験を世界の島しょ地域に発信・共有することで国際貢献を実現している。	・環境・エネルギー分野、農林水産分野、上下水道等の公共インフラ関連などの様々な分野の技術や経験を世界の島しょ地域の課題解決に活かす。
2	世界との技術交流の促進により、グローバルパートナーシップが実現している。	・ハワイ等のアジア・太平洋地域を始め、世界各地との研究や技術交流を促進し、環境・エネルギーや自然環境・生物多様性の保全など、様々な技術分野における共同研究、国際交流、人材育成等を促進する。